

第1章 業務概要

(1) 業務目的

本業務は、安威川ダム建設工事に伴いコア敷き、ロック敷き等の基礎岩盤面、常用洪水吐トンネル坑壁部を観察し、その結果に基づいて解析・評価を行い、設計条件を満足する基礎岩盤を決定するとともに、ダム建設工事の施工に反映することを目的とする。

(2) 業務箇所

業務箇所：大阪府茨木市大字生保地内外

図-1.1 に位置図、図-1.2～図-1.3 に業務実施範囲図を示す。

(3) 工期

自) 平成 29 年 11 月 21 日

至) 平成 30 年 11 月 30 日

(4) 業務項目

表-1.1 業務項目一覧表

業務項目	単位	数量	備 考
1) 計画準備	式	1	
2) 岩盤スケッチ	式	1	・基礎岩盤面観察 ・基礎岩盤面図作成
3) 基礎岩盤の解析・評価	式	1	
4) 本体設計検討	式	1	・基礎掘削工 ・盛立工 ・材料採取工 ・基礎処理工 ・その他関連工種
5) 報告書作成	式	1	
6) 打合せ協議	式	1	・業務着手時 ・業務中間時 (23 回) ・成果品納品時

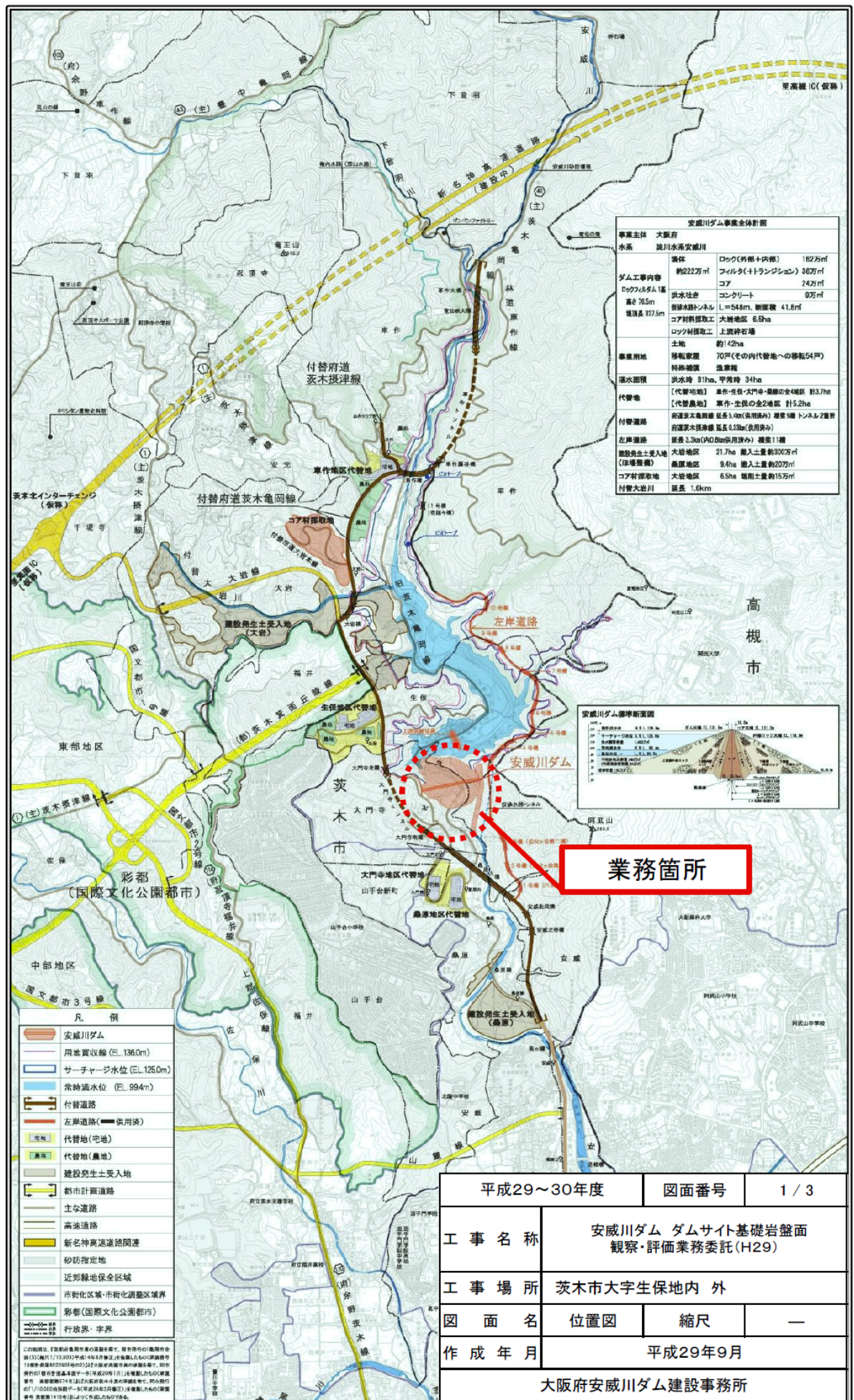


図- 1.1 業務位置図

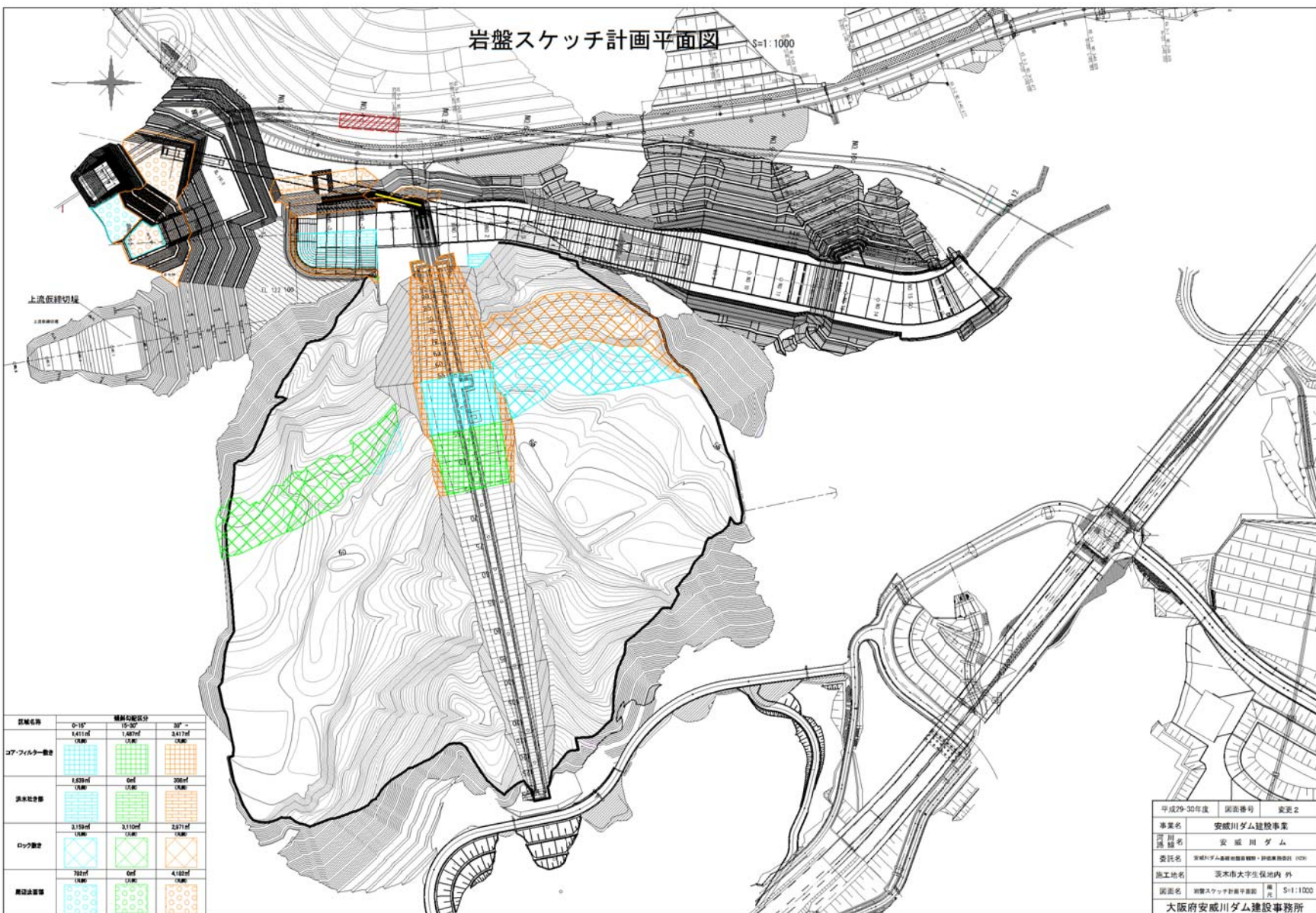
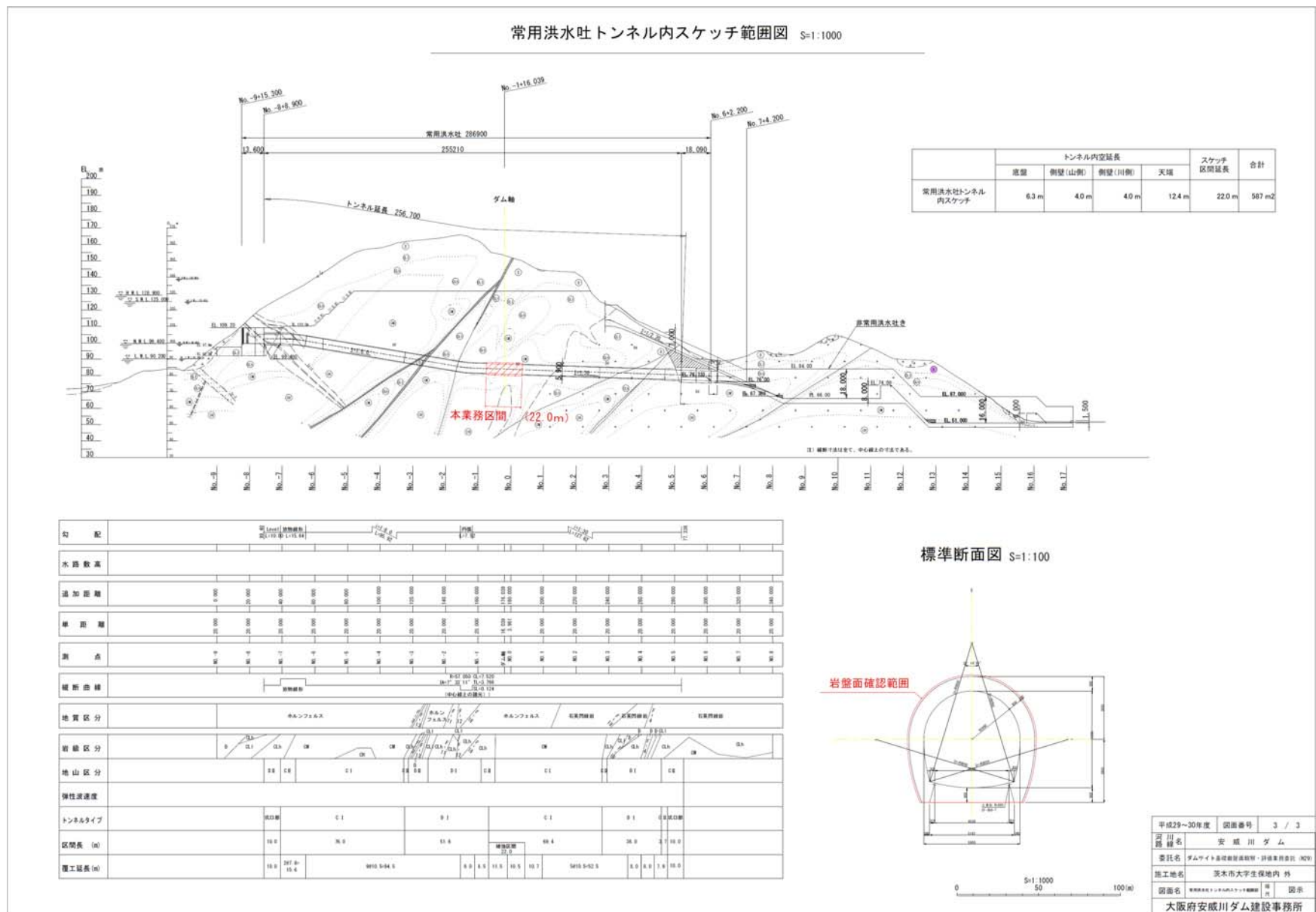


図-1.2 業務実施範囲図(ダムサイト)

1-4



(5) 業務フロー

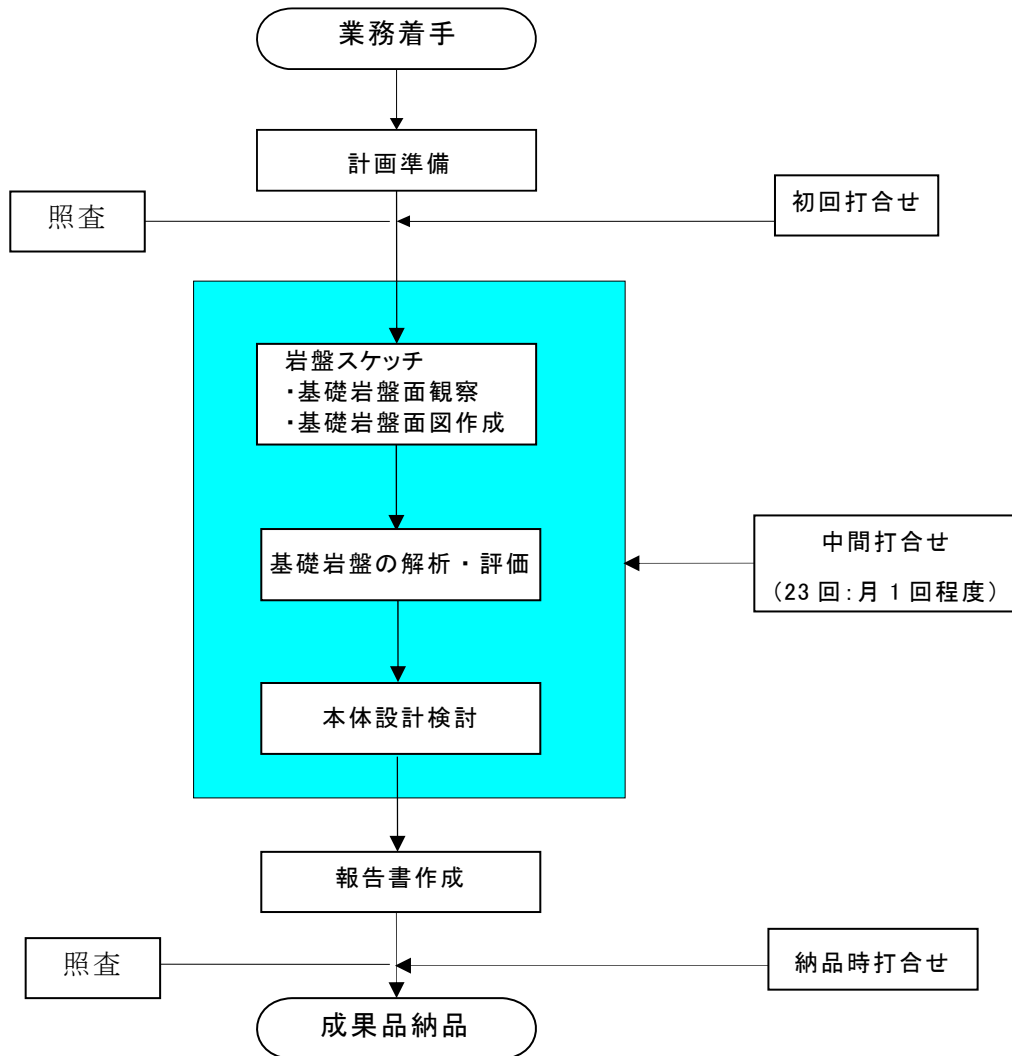


図- 1.4 業務フロー

(6) 業務内容

1) 計画準備

業務の実施にあたり、業務目的、主旨、現地の状況、過年度業務等の成果、設計図書などを把握し、文献ならびに既往資料の収集、検討を行い、調査計画を立案した。

なお、本業務はダムの安定性、遮水性を確保する上で非常に重要な検討であることから、ボーリングコア・柱状図等を把握し、ダム全体の水理地質構造、止水対策等を十分踏まえたうえで実施した。

2) 岩盤スケッチ

a) 基礎岩盤面観察

コア・フィルター敷きおよびロック敷き等の基礎岩盤面、常用洪水吐トンネル坑壁部の観察を実施した。

現地において基礎岩盤面の「地質構成」「地質構造」「岩盤状況」「割れ目の風化の状況」等を観察・確認して岩盤スケッチおよび写真撮影を行い、地質情報を収集・整理する。実施するスケッチ対象箇所及び縮尺は以下の通りとした。

- ・コア・フィルター敷き：縮尺＝1／200 ※岩盤判定会議対象
- ・洪水吐き：縮尺＝1／200 ※岩盤判定会議対象
- ・ロック敷き：縮尺＝1／500 ※岩盤判定会議対象
- ・周辺法面部：縮尺＝1／500
- ・常用洪水吐トンネル坑壁部：縮尺＝1／200

b) 基礎岩盤面図作成

岩種分布、岩級分布および岩盤劣化部の連続性、岩盤の透水性などの観察結果を参考に、「地質図」「岩級区分図」「岩盤透水性区分図（コア・フィルター敷きのみ）」を作成した。なお、本業務で作成した図面については、ダムの基礎岩盤の妥当性を関係者で確認する「岩盤判定会議」の資料とした。

- ・掘削面地質平面図：縮尺＝基礎岩盤面観察参照
- ・掘削面岩級区分図：縮尺＝基礎岩盤面観察参照
- ・岩盤透水性区分図：縮尺＝基礎岩盤面観察参照
- ・地質断面図：縮尺＝1/500
- ・岩級区分断面図：縮尺＝1/500
- ・岩盤透水性区分断面図：縮尺＝1/500（コア・フィルター敷きのみ）

3) 基礎岩盤の解析・評価

実施設計に用いた地質資料等の既存資料との相違を比較するなど、基礎岩盤の諸性状が設計段階で想定していた状況と合致しているか否かを解析し、地質工学的に満足

する基礎岩盤面を提案した。

また、解析結果を踏まえ基礎処理の変更等について検討し、仕上げ掘削に際しての留意点を示した。

4) 本体設計検討

基礎岩盤面や岩盤透水性の変更に伴い、「基礎掘削」「盛立」「基礎処理」の施工計画や、数量、図面、積算資料を修正した。

① 基礎掘削工

基礎岩盤面の変更に伴う施工計画、積算資料、図面、数量、運土計画等の修正

② 基礎岩盤面の変更に伴う施工計画、積算資料、図面、数量、盛立材料購入等計画の修正

③ 材料採取工

基礎岩盤面の変更に伴う施工計画、積算資料、図面、数量、材料調達計画等（コア山の選定を含む）の修正

④ 基礎処理工

基礎岩盤面の変更に伴う施工計画、積算資料、図面、数量の修正

⑤ その他関連工種

現在の施工状況を踏まえ、当初想定より変更がある工種の施工計画、積算資料、図面、数量の修正

5) 報告書作成

本業務で検討した岩盤スケッチ結果、設計検討資料等を報告書としてとりまとめた。